

| | | | | | | | |
|----|---|----|------|----|------|-----|--------|
| No | 1 | 分類 | 事事故例 | 工種 | 一般除雪 | 機械名 | 除雪トラック |
|----|---|----|------|----|------|-----|--------|

内容
 ・消雪パイプのある県道を拡幅し、交差点内において10mほど後進して右折しようと思い、2m - ほどバックしたところ、カウンターウエイトの死角により、すぐ後ろに停車していた軽乗用車に衝突した。
 ・軽自動車の前部を除雪トラックの後部バンパーにて損傷を与えた。

対策
 ・後退の際には助手が作業車より降りて、安全確認を徹底する。
 ・除雪機械の特性、能力を再確認する。
 ・除雪トラック後部に注意を促す掲示をし、後方一般車両に除雪機械の危険性を認識させる。
 ・移動前に作業路線内における危険箇所、注意事項等を再確認する。

写真



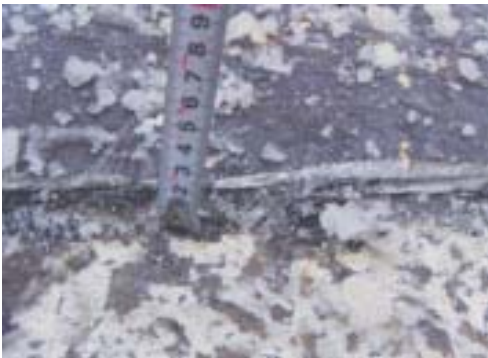
| | | | | | | | |
|----|---|----|------|----|------|-----|--------|
| No | 2 | 分類 | 事事故例 | 工種 | 一般除雪 | 機械名 | 除雪トラック |
|----|---|----|------|----|------|-----|--------|

内容
 ・除雪で飛ばされた雪で道路に面しているシャッター・戸を破損した。

対策
 ・家屋が道路に面している場合は徐行の徹底と他の除雪機種(ロータリ除雪車等)での対応にあたる。

写真





| No | 3 | 分類 | 事故事例 | 工種 | 一般除雪 | 機械名 | 除雪グレーダ |
|---|---|----|------|----|------|-----|--------|
| <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早朝車道除雪を実施中、道路橋にさしかかった。 ・橋詰ジョイント金具に排土板中央部が引っかかり、ドロバーフレーム等を破損、排土板操作が不能となった。 ・危険回避用のスリップクラッチは、排土板中央部は機能しない構造であった。 | | | | | | | |
| <p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪オペレータは除雪作業にあたり、道路上の障害物(雪の下のマンホール、橋の下のジョイント、路肩、線路の踏切など)は事前に調査し、注意標識を立てるなどの対応をとる。 ・除雪オペレータは機械の構造と取扱方法を熟知する。 | | | | | | | |
| <p>写真</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">    </div> | | | | | | | |




| No | 4 | 分類 | 事件事例 | 工種 | 一般除雪 | 機械名 | 除雪グレーダ |
|----|---|----|------|----|------|-----|--------|
| 内容 | <p>・路肩にある敷鉄板が、除雪中のグレーダエッジ部分に接触し、敷鉄板が電柱に接触、電柱を損傷した。</p> | | | | | | |
| 対策 | <p>・パトロール時危険箇所があった場合すぐにオペレータ及び助手に連絡し周知徹底する。 ・毎月の安全会議時に災害例の検討を行い、全員での周知徹底を行う。</p> | | | | | | |
| 写真 |  | | | | | | |

| No | 5 | 分類 | 事件事例 | 工種 | 一般除雪 | 機械名 | 除雪ドーザ |
|----|---|----|------|----|------|-----|-------|
| 内容 | <p>・橋梁の伸縮装置に除雪ドーザのブレードが衝突し、ブレードが損傷した。作業速度が低速だったため、乗務員に怪我はなかった。 ・原因は伸縮装置に対してブレードが直角に進入したためである。</p> | | | | | | |
| 対策 | <p>・進入の際は、伸縮装置に対してブレードをアングルにし、ブレードが斜めに入るようにして通過する。 ・作業上どうしても直角に入る場合は伸縮装置手前で停止し、ブレードを浮かせてゆっくりと通過する。</p> | | | | | | |
| 写真 |  | | | | | | |

| No | 6 | 分類 | 事故事例 | 工種 | 一般除雪 | 機械名 | 除雪ドーザ |
|----|--|----|------|----|------|-----|-------|
| 内容 | <p>・路肩、集水柵のグレーチングに排雪板が接触し、グレーチング蓋を破損。</p> | | | | | | |
| 対策 | <p>・除雪前パトロールにて危険箇所をチェックし、作業員に周知徹底する。 ・ポール、赤旗等により、降雪時にも危険箇所が確認できるようにする。 ・舗装すりつけにて対処できる場合は、協議し施工を行う。</p> | | | | | | |
| 写真 |  | | | | | | |

| No | 7 | 分類 | 事故事例 | 工種 | 凍結防止剤散布 | 機械名 | 凍結防止剤散布車 |
|----|--|----|------|----|---------|-----|----------|
| 内容 | <p>・凍結防止剤散布中、運転を誤り停車中の車両に接触し(横にスリップした)散布車を損傷した。</p> | | | | | | |
| 対策 | <p>・停車車両があった場合、前方後方左右の安全確認及び路面状況の確認をしながら走行する。</p> | | | | | | |
| 写真 |  | | | | | | |

| No | 8 | 分類 | 事故事例 | 工種 | 歩道除雪 | 機械名 | 小形除雪車 |
|----|--|----|------|----|------|-----|-------|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・歩車道境界ブロックに除雪車が乗り上げ、バックしたところ後輪が側溝に脱輪し、続いて前輪も脱輪し走行不能となった。 ・40cm程度の積雪があり、側溝も歩車道境界ブロックも見えない状況で、勘に頼ったためのミス。 | | | | | | |
| 対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・降雪前に事前にチェックしたり、判りにくい障害物はポール等で目印しておく。 | | | | | | |
| 写真 |  | | | | | | |

| No | 9 | 分類 | 事故事例 | 工種 | 歩道除雪 | 機械名 | 小形除雪車 |
|----|--|----|------|----|------|-----|-------|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路横断の際に除雪車のシュートを出したまま移動したため、歩行者用の信号機に接触、損壊させてしまいました。 | | | | | | |
| 対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・早朝、深夜でも歩行者がいないと思わないで常にシュートの方向に気を配り、歩行者の通路を確保して安全な通過を誘導できるよう心掛ける。 ・運転手とシュート作業者は各作業において、互いに声を出し確認する。 | | | | | | |
| 写真 |  | | | | | | |